

茨城県高萩市

「赤水図（改正日本輿地路程全図）」がマンホールカードに登場

NHK ニュース 2021.4.26 17:50

地域の特色をデザインしたマンホールのふたを紹介する「マンホールカード」に新たに高萩市と下妻市が加わり、25日からカードの配布が始まりました。

マンホールカードは国土交通省や下水道関連の企業などで作る団体が全国の自治体と発行しています。

25日から全国で新たに41種類が加わり、県内では高萩市と下妻市で配布が始まり、このうち高萩市役所には配付初日の25日朝から多くの人を訪れました。

高萩市のマンホールカードは江戸時代にいまの高萩市に生まれ広く使われた日本地図を作ったことで知られる長久保赤水にちなんだマンホールを紹介しています。

マンホールは去年11月に市内5か所に設置され、赤水の代表作「改正日本輿地路程全図」などがデザインされていて、職員たちが訪れた人にカードとマンホールの設置場所の地図を渡していました。

市内から訪れた中学生の女の子は「地元のカードができてうれしいです。学校の授業で長久保赤水のことを学んだのもっと知ってみたいと思います」と話していました。

高萩市都市整備課の鈴木宏幸係長は「朝早くから多くの人に来ていただいてとてもうれしいです。カードを通して赤水のことを知ってもらえたらいいです」と話していました。

一方、下妻市のマンホールカードは市のイメージキャラクターや特産の梨、市内で楽しめる花々などがデザインされたマンホールを紹介していて市立図書館で配付されているということです。

いずれの自治体も郵送などの対応は行っていません。また、配付場所を訪れる際にはマスクの着用など感染対策を十分に取ってほしいと話しています

（以上、放送内容全文）